

令和3(2021)年度事業報告書

I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

2001年2月14日

イ 基本財産

金 52,363,000 円

ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及、啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査、研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民、事業者等との連携、支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携、支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況 (2022年3月31日現在)

(1) 役員等の数

理事長 1人 専務理事 1人 理事 7人 監事 2人 評議員 10人

(2) 役員等名簿

ア 役員名簿

(敬称略・順不同)

役職	氏名	備考
理事長	新川 達郎	同志社大学名誉教授
専務理事	辻 智之	元京都市総合企画局プロジェクト・国際化・情報化担当局長
理事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表

理事	高野 拓樹	京都光華女子大学学長特別補佐 教授
〃	永田 綾	京都市環境政策局地球温暖化対策エネルギー政策部長
監事	野村 克章	税理士
〃	水口 重忠	元京都市伏見区長

イ 評議員名簿

(敬称略・順不同)

役職	氏名	備考
評議員	浅利 美鈴	京都大学地球環境学堂准教授
〃	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター教授
〃	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議委員長
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	長屋 博久	有限会社村田堂取締役
〃	原 強	京都循環経済研究所所長
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	安部 孝幸	株式会社京都銀行公務・地域連携部観光地域活性化室長
〃	南山 泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

	開催日	審議事項	結果
第40回	2021年 5月25日	議第1号 令和2年(2020年)度事業報告書(案) 議第2号 令和2年度決算報告書(案) 議第3号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」(案) 議第4号 基本構想(2021~2030年度)骨子(案)	承認 承認 承認 承認
第41回	2021年 7月1日	議第1号 理事長の選定等について 議第2号 専務理事の選定等について 議第3号 事務局長の任用について	承認 承認 承認
第42回	2021年 8月16日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認
第43回	2021年 11月22日	議第1号 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 基本構想(2021年度~2030年度)(案)	承認

		報 告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について	
第44回	2022年 3月17日	議第1号 令和4年度事業計画書（案） 議第2号 令和4年度予算書（案） 議第3号 賛助会員要綱の制定について 議第4号 事務局の組織及び運営に関する諸規則の改正等について	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第14回	2021年 6月15日	議第1号 定款の変更（案） 議第2号 理事の選任（案） 議第3号 令和2年度決算報告書（案） 報第1号 令和2（2020）年度事業報告書 報第2号 中長期事業計画の見直しについて	承認 承認 承認

4 職員数（2022年3月31日現在）

（単位：人）

理事 専務 局長	専務 理事	事務局 局長	総務課				事業部								合計
			課長	事務職員	臨時職員	小計	部長	課長	課長補佐	事業職員	事務職員	研修職員	臨時職員	小計	
1	1	1	1	3	1	5	1	3 (1)	2	21	0	0	6	33	41

※事業部課長のうち1名は、事業部長の事務取扱としている。事務取扱対象者は（ ）で表示している。

II 2021年度実施事業内容（事業計画と主な実績）

（詳細を6ページ以降に記す。下線部は、2021年度事業計画書の記載を転記）

I 公益目的事業

脱炭素社会推進事業・循環型社会推進事業・自然共生社会推進事業

【1】環境保全活動拠点事業

1 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

- 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供
- 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示
- 1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供
- 1141 啓発冊子発行
- 1142 環境副読本発行
- 1143 広報誌の発行
- 1144 ホームページ等による情報発信
- 1145 各種講座や講演会の企画と実施
- 1146 各種団体との連携事業
- 1147 環境ボランティアの育成
- 1148 環境保全活動に関わる人材の育成
- 1149 海外との交流
- 1150 大学生の環境活動支援

2 さすてな京都（南部クリーンセンター環境学習施設）管理運営業務

【2】国際事業

- 1201 JICA 課題別研修（「循環型社会構築のための固形廃棄物管理（行政と市民の協働に重点を置いた）」）
- 1202 JICA 草の根事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」
- 1203 JICA 日系研修受け入れ業務
- 1204 JICA中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」支援業務（研修受託業務・専門家派遣）
- 1205 その他国際事業（調査、案件形成等）

【3】地域環境活動支援事業

- 1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業
- 1600 ごみ減量推進事業
- 1700 京のアジェンダ21フォーラム事業
- 1502 ESD-SDGs コンソーシアム事業 京 KAMADOKI
- 1504 太陽光発電プラットフォーム事業

【4】講師派遣事業

1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

【5】調査・研究・開発・発信事業

1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化

II 収益事業

5101 貸会場運営事業

III その他事業（相互扶助等事業）

6101 秘密書類リサイクル事業

IV 附属明細書

I 公益目的事業

【1】環境保全活動拠点事業（事業番号1111～1150）

1 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）指定管理業務

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、臨時休館や開館時間の短縮を繰り返しながら事業を進めました。令和3年度の年間入館者数は46,831名（開館日数：245日）で、令和2年度と比較すると、開館日数が少ないにもかかわらず来館者数は増加しており（令和2年度38,406名／開館日数279日）、ハンズオン展示の再開など、少しずつコロナ禍以前の状況に戻りつつあります。しかしながら、コロナ前の来館者数と比較すると半数程度となっており、With コロナの状況下では、来館者数を増やすだけでなく、オンラインでの参加の機会を増やしたり、館外に出ていってのアプローチを重視していく必要があります。

京エコロジーセンター指定管理業務について、「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」や、コロナ禍を経ての「グリーン・リカバリー」を目指すために必要な取組や社会像を意識し、広く市民に共有することを目指した事業や、2022年4月に迎える開館20周年を意識しながら、以下の事業番号1111～1150の事業を行いました。

◇来館者数

	来館者数	昨年度比
第1四半期（4～6月）	6,847	154%
第2四半期（7～9月）	12,460	98%
第3四半期（10～12月）	15,180	124%
第4四半期（1～3月）	12,344	137%
第1～4四半期（4～3月）計	46,831	122%
平成14年度～令和3年度累計	1,630,141名	

※昨年度比は小数点以下四捨五入

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月12日～4月24日は時短営業（午前9時～午後5時）、4月25日～5月31日は臨時休館、6月1日～7月11日は時短営業（午前9時～午後5時）、8月2日～8月19日は時短営業（午前9時～午後5時）、8月20日～9月30日臨時休館。

1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供

京都市の環境教育・学習の中核施設として、市民、事業者等が環境保全活動のために会議やセミナー等を実施する場合の会場等の提供、企画展示コーナーにおける共同企画展を実施します。また、環境保全活動にかかる印刷物作成のための印刷室の提供や、小規模の環境活動団体向けのメールボックスサービス等を行います。あわせて、施設の設備やサービスを充実させるため、来館者アンケートを実施し、来館者のニーズを把握します。

<2021年度結果>

- ・ 共同主催型企画展示として、7件の企画展を開催し、うち3件は新規団体・企業等と行い

ました。

- 来館者アンケートは年間で 133 件（昨年度 25 件）の回答となりました。回答者の約半数が 10 代の来館者で、回答者の 54%が「親子」での来館でした。来館のきっかけは 27%が「SNS(Facebook 等)」で最も多く、次いで「青少年科学センター」が 23%、「以前来館した事があったため」が 20%でした。これまでの傾向として、「青少年科学センター」「以前来館した事があったため(リピーター)」「イベントに参加するため」等が上位にきていましたが、「SNS(Facebook 等)」が最も多くなった理由は、SNS 等を活用したキャンペーンを行ったことによる成果だと考えられます。

来館を来館目的に関する設問では、「展示の見学(企画展含む)」が 32%で最も多く、次いで「青少年科学センターの帰り」が 16%、「たまたま来館」が 15%、「図書コーナーの利用」が 14%という結果になりました。「また来館したいと思いますか」という質問への回答では、「来館したい」が 82%、「どちらでもない」が 16%、「来館したくない」が 2%という結果になりました。

◇共同主催企画展示

開催期間	タイトル（共催団体等）
8/10(火)～ 8/19(木)	農業・農村のもつ大切な役割～農業・農村の多面的機能の紹介～（近畿農政局）
8/13(金)～ 8/24(火)	キノコの女王「キノガサタケ」（京都市南部農業振興センター）
10/8(金)～ 10/23(土)	「整理収納アドバイザー」が伝えるお片づけからはじまるエコな暮らし（ecoto 京都）
10/17(日)～ 11/14(日)	未来を守る作文コンクール 2021～脱炭素社会に向けて行動しよう～（特定非営利活動法人気候ネットワーク）
12/8(火)～ 1/11(月祝)	みやこ KAMADOKI 展 2021（京都・関西 SDGs ネットワーク-みやこ KAMADOKI プログラム-実行委員会）
1/11(火)～ 1/31(月)	エコドライブシミュレーター（京都市地球温暖化対策室）
1/17(月)～ 1/29(土)	ボードゲーム「みんなのごみ」アクションカード展示 80のごみの減らし方（特定非営利活動法人環境安全センター）

1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示

身近なごみ問題から地球規模の環境問題まで幅広い視点に立った環境意識の定着を図るため、京エコロジーセンターの常設展示の更新・補修を行うとともに、「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」や「グリーン・リカバリー」を目指すために必要な取組の紹介等、社会の情勢・状況に沿った展示の作成や企画展の開催を行います。また、京エコロジーセンター主催の企画展のみならず、他団体との共同主催型企画展も積極的に実施していきます。

<2021年度結果>

- ・ 常設展示では、抗菌剤を定期的に塗布することで、ほとんどの展示をコロナウイルス感染症拡大以前の状態で来館者に楽しんでいただけるようにしました。
- ・ 企画展示は、主催の企画展示4件、企画展関連イベントを2件開催しました。
- ・ 「エコセン通い帳」は、年間で延べ701名の参加がありました。また、10回通い帳に取り組んだ参加者に発行する「エコの達人認定証」を21枚発行しました。
- ・ エントランス貸出ツールBOX「ちきゅまるのはこ」は、2021年8月19日以降は除菌作業が簡易な物について、受付にボランティアがいる場合のみ貸出可能、という条件のもと利用を再開しており、今年度の利用者数は233名でした。

◇企画展示

	開催期間	タイトル（共催団体等）
1	4月10日（土）～ 5月9日（日）	「世界のこども環境絵画展」
2	7月16日（金）～ 9月29日（水）	「スパイスアップ！～環境意識を刺激する香辛料の魅力～」
3	10月29日（金）～ 1月10日（月）	「海ごみミュージアム」
4	2月4日（金）～ 7月10日（日）	「京エコロジーセンター20周年記念企画展」

◇企画展関連イベント

開催日	タイトル	講師	参加人数
9月5日（日）	「エコとカレーの美味しいつながり」 【オンライン】	堀井志郎 氏（ハウス食品グループ本社（株）広報・IR部シニアスパイスアドバイザー）	19
12月4日（土）	「ゴミジナル工作」	淀川テクニック （有限会社ゆかりアート）	36

◇木のおもちゃひろば、エントランス貸し出しツールBOX「ちきゅまるのはこ」利用数
（木のおもちゃひろばは、新型コロナウイルスの影響で2021年3月2日から休止中）

ちきゅまるのはこ	利用組数	利用者数	昨年度比（人数）
第1四半期（4～6月）	12	27	169%
第2四半期（7～9月）	14	34	55%
第3四半期（10～12月）	31	74	114%
第4四半期（1～3月）	35	98	653%

1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供

国、地方公共団体や市民活動団体の環境保全に関する情報を収集し、収集した情報は、かんきょう図書コーナーで閲覧に供するにとどまらず、京エコロジーセンター展示コーナーや企画展示コーナーをはじめ、各種事業に反映します。

学校や自治会、PTAなど団体での来館者から見学希望があった場合は、目的に合わせ、気づきから行動につながる環境学習プログラムとして提供します。学校等から依頼を受けた場合は、職員や環境ボランティアを講師として派遣し、学習・研修等のアドバイスをを行うとともに、教材の提供や開発支援を行います。

環境学習プログラムや館内の展示見学、出前講座等に関しては、中学校・高等学校の利用促進を図るため、2021年度はまず中学生向けのプログラム開発を行います。

<2021年度結果>

- ・ 団体見学は年間で57件（1,883名）の受け入れを行い、昨年度と比べて204%（961名／人数比）と倍増になりました。京都市立小学校を対象にしたエコ学習については、昨年度は新型コロナウイルスの影響により全て中止となりましたが、今年度は32校（874名）の受け入れを行いました。また、オンライン団体見学を3件（370名）、京都市立の小中学校や児童館を対象にした出前講座を6件（404名）実施し、コロナ禍における幅広い学習ニーズに対応しました。
- ・ 来館者のニーズに幅広く対応するために、中学生を対象とした館内用プログラムと環境副読本を活用したアウトリーチ型プログラムを作成しました。どちらのプログラムも、来年度から京エコロジーセンターのプログラムとして積極的に展開するために、広報の準備を進めています。アウトリーチプログラムについては、環境副読本の送付とあわせて出前講座の案内を京都市内全中学校に送付しました。
- ・ かんきょう図書コーナーを通して、市民に環境について関心を高める機会を提供しました。年間の貸出人数584名、貸出冊数2,097冊、新規資料の追加が343冊でした。蔵書の確認と書架の整理のために、蔵書点検作業を12月23日（木）に実施しました。事業等の見直しに伴い、3月31日（木）をもって図書の貸出サービスは終了しましたが、引き続き図書コーナーでの資料の閲覧は可能であり、資料の収集や学校・団体向けの貸出サービスは継続して行う予定です。

◇団体見学、エコ学習（京都市立小学校対象）受入数

団体見学	団体数	人数	昨年度比（人数）
第1四半期（4～6月）	8	81	—
第2四半期（7～9月）	7	101	76%
第3四半期（10～12月）	32	1,373	199%
第4四半期（1～3月）	10	328	328%
エコ学習	団体数	人数	昨年度比（人数）
第1四半期（4～6月）	12	416	—
第2四半期（7～9月）	7	208	—
第3四半期（10～12月）	2	45	—
第4四半期（1～3月）	11	205	—

1141 啓発冊子発行

より多くの市民、事業者等に環境保全について理解してもらうため、身近なテーマを取り上げ、絵や写真、グラフ等を用いてわかりやすく説明した啓発冊子を年1回発行します。区役所や図書館等の市内各所への配架とともに、冊子の認知度を高めるための広報活動を行います。

<2021年度結果>

- ・ 市民の環境意識を高めることを目的に啓発冊子を作成しました。令和3年度は、気候変動による台風や豪雨の増加、森林火災の深刻化、生物多様性の危機を切り口に、私たちが普段の暮らしの中でできるエコアクションがどの程度の温室効果ガスを減らすことにつながるのか、定量的に見ることのできる内容としました。サイズはA4判8ページ（中綴じ製本）とし、3月に6,500部を発行しました。

1142 環境副読本発行

地球温暖化をはじめ幅広く環境問題について学べる環境副読本（小学4年生用、5年生用、中学生用）を最新のデータで作成し、市内全ての小学校及び中学校に配付します。学校現場でより活用しやすいよう、新学習指導要領を踏まえた内容とするため、環境副読本の改定に向けた検討委員会を開催し、2022年度より順次改訂するための準備を行います。

<2021年度結果>

- ・ 令和4年度版環境副読本小学4年生用、小学5年生用各15,000部、中学生用17,000部を印刷・製本し、京都市内の全小中学校に配布しました。環境副読本の活用を増やしてもらうため、各教科や総合的な学習の時間での活用方法の紹介を併せて配布しました。加えて、中学生用の環境副読本を使用した出前講座（アウトリーチプログラム）のお知らせを京都市内全中学校に配布し、学校現場でのSDGs学習に活用してもらえるようにしました。
- ・ 学校現場での環境副読本の活用状況の改善を目指し、京都市地球温暖化対策室、京都市教育委員会、京都市環境総務課と協議を行いました。副読本の改訂の必要性を把握するために、京都市内全（国立・公立・私立）小中学校の担当教員に向けて環境副読本の活用状況についてアンケートを実施したところ、現在の内容そのものに大きな不満や不足はなく、SDGs等の今日的なトピックの追加や、アクティブラーニングに対応した内容の追加、動画教材などの追加コンテンツを望む声が多いことがわかりました。これを受けて、主な改訂内容として、環境副読本の使用についてまとめた教員向けの手引きの作成、ICT教育に対応したWebコンテンツの作成を行うことに決定しました。改訂は令和4年度から進めていきます。

1143 広報誌の発行

広報誌「えこせん」を隔月で発行し、環境保全への取組の紹介や、季節に合わせた取組の紹介など、市民が取り組みたいと思えるような内容を紹介します。区役所や図書館、児童館、京都市動物園等、市内各所に配架するとともに、動画配信を含め、様々な媒体を通じて広報誌の情報を発信します。

<2021年度結果>

- ・ 広報誌「えこせん」を年6回、それぞれ5,500部発行し、京エコロジーセンター館内や市内各所に配架しました。広報誌のコンセプト「京のくらしと人とエコ」を意識した読みやすい誌面づくりを行い、家庭で取り組めるエコライフの紹介のほか、京エコロジーセンターのイベントや施設を紹介しました。No.78(4月号)は特集1・2をつなげて、京エコロジーセンターにゆかりのある方13人のコメントを掲載し、開館20周年をPRしました。なお、事業等の見直しに伴い、広報誌「えこせん」の発行は本年度で終了しました。

発行号	発行日	特集1	特集2
No.73 (6月号)	5月31日	「環境問題をユーモラスに描写」 高月紘氏 (京エコロジーセンター館長 環境マンガ家)	環境マンガの つくりかた
No.74 (8月号)	7月20日	「自然のうつろいに心ふるわせて」 高井和夫氏 (NPO法人京都洛北・森と水の会理事長)	生物多様性って なに?
No.75 (10月号)	9月17日	「エコなくらしは整理収納から」 ecoto 京都	心地いいくらし の作り方
No.76 (12月号)	11月19日	「着物こそがサステナブルファッション」 たなかきょうこ氏(彼方此方屋 代表)	着られなくなった服の いかし方
No.77 (2月号)	1月19日	「当事者意識をもってSDGsと向き合う」 田丸倫子氏(2020年度みやこKAMADOKIプログラム参加者)	SDGs達成に向けて 動いているかな?
No.78 (4月号)	3月25日	未来へ向けて エコセンの歴史をふりかえる	

1144 ホームページ等による情報発信

京エコロジーセンターのホームページやSNS等を活用し、環境イベントの案内や見学・活用方法、学校・地域・大学生・事業者等を対象とした環境保全活動の支援メニュー、環境学習のための動画やツール等、京エコロジーセンターの情報を発信することはもちろん、他団体による環境保全活動や関連するイベントの情報発信を行う等、効果的な情報収集と発信を行い、より多くの市民に環境保全活動に関する情報が届くようにします。また、開館20周年に向け、これまでの取組や施設についての情報発信も行います。

<2021年度結果>

- ・ 隔月発行のイベント案内チラシを年6回、それぞれ約4,500部配布し、京エコロジーセンター館内や市内各所に配架しました。その他、ホームページやメールマガジン、市民しんぶんやGoGo土曜塾などの外部のイベント情報媒体等を活用して情報発信を行いました。
- ・ Web版お出かけ情報サイト「デジスタイル京都」や、京阪電車の各駅や沿線の施設に配架されているフリーペーパー「K PRESS」に開館20周年のPRを掲載しました。来館を促進するためのプレゼントキャンペーンや、20周年記念冊子と「20周年記念企画展示」と連動

したキャンペーンに加え、SNS で開館 20 周年の記念日に向けた継続的な投稿のほか、SNS を活用したキャンペーンも開催し、広く開館 20 周年に向けての PR を行いました。

- ・ 京エコロジーセンターホームページで他団体の情報発信として、20 件のイベントを掲載、6 件のメールマガジンを配信しました。
- ・ ブース出展による情報発信として、11 月 3 日に宝ヶ池公園憩いの森で開催された「森のようちえんどろんこ園おやこまつり」（主催者：森のようちえんどろんこ園）に出展しました。（参加者数 190 名）

1145 各種講座や講演会の企画と実施

環境に配慮したライフスタイルを实践するきっかけをつくるために、市民が興味を持ちやすく、家庭や学校、職場、地域等での実践につながるような、身近な暮らしに関連したイベントや、「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」「グリーン・リカバリー」を目指すために必要な取組や暮らし方の紹介等、社会情勢・状況に沿った内容のイベントをパートナーシップで企画・実施します。2021年度は、オンラインイベントと来館のイベントを効果的に使い分けて実施するとともに、積極的に中高生・大学生を対象としたイベントを企画・実施します。

<2021年度結果>

- ・ 親子から大人、環境に関心のある方まで幅広い層に向けて、楽しみながら暮らしの中でできるエコや持続可能な社会について学ぶことができる企画を実施しました。今年度も従来の大人数での対面によるイベント等が実施できない状況の中で、Zoom で配信を行うリアルタイム配信や YouTube に動画をアップロードするオンデマンド配信を、イベントの内容に合わせた方法で実施しました。また、続けて参加することで学びを深めていく 4 回連続のオンラインイベントも 1 件実施しました。
- ・ 通年の環境学習プログラム「えこそらキッズ」では、抽選で選ばれた小学 1～4 年生とその家族（40 名）を対象に、屋上の田畑やビオトープでの活動を計 11 回（緊急事態宣言中のオンライン配信を含む）行いました。

開催日	タイトル	講師	参加人数等
4 月 18 日	京エコロジーセンター開館 19 周年記念イベント 講演会「持続可能な社会を創る～アフターコロナの視点から～」【来館及びオンライン】	亀山康子氏（国立研究開発法人 国立環境研究所）	37 (来館 4・オンライン 33)
5 月 1 日～ 5 月 31 日	上記イベント【オンデマンド配信】		再生回数 67
5 月 1 日～ 5 月 5 日	ちきゅまるひろば		中止

5月30日	親子で虫よけスプレー	山本貴世氏（パーフェクトポーションジャパン(株)代表)	中止
5月15日	第1回 えこそらキッズ		中止
5月29日	第2回 えこそらキッズ		中止
6月5日～ 6月27日	梅雨を楽しく過ごそう！おうちでエコ傘づくり【オンライン】	株式会社サエラ	25
6月19日	えこそらキッズ（第3回代替分） 【オンライン】		27
6月27日	こんな未来になってほしい！大きな紙にみんなで描こう～エコセン館長とお絵かきしよう～	石橋幸子氏（NPO法人アトリエ・Petata）	24
7月17日	第4回 えこそらキッズ		35
7月22日 ～8月24日	エコセンスタッフとやってみよう！おうちで紙すき【オンデマンド配信】		再生回数 434
7月22日 ～8月24日	あなたのおうちはどうかな？食品ロスについて調べてみよう！ 【オンデマンド配信】	大関はるか氏（ひのでやエコライフ研究所）力石幸氏（料理研究家）	再生回数 200
8月7日	いい香り！京都の木を使って工作しよう！	前田清二氏（京都府森林組合連合会 京都木材加工センター）、井澤佑真氏（京都ペレット町家ヒノコ）	73
8月7日	第5回 えこそらキッズ		29
8月9日～ 8月13日	夏休み！ちきゅまるひろば		115
8月15日	子どもクッキング教室～自分でつくるカンタンごはん～【オンライン】	京都こどもクッキング	23
8月20日	LED 工作教室 ～親子で家ライト作り～	パナソニック（株）ライフソリューションズ社	中止
8月22日	プログラミングで海のSDGs！ ～海と日本 PROJECT～	豊田知八氏（保津川遊船企業組合代表理事、世界に誇れる環境先進都市	中止

		かめおか協議会 会長)、林三扇氏 (落語家)、倉橋弘美氏 (株式会社アペイロン代表取締役)	
8月28日	第6回 えこそらキッズ		中止
9月11日	えこそらキッズ (第7回代替分) 【オンライン】		22
9月19日	雲ってなあ〜に?雲を知って、お天気博士になろう!	(一社) 日本気象予報士会関西支部	開催延期 (11月6日)
9月23日	地球温暖化啓発アニメ「地球との約束」「私たちの未来」上映会〜アニメから地球環境について考えよう〜		開催延期 (10月2日)
9月25日	えこそらキッズ (第8回代替分) 【オンライン】		15
9月26日	めざせ葉っぱ探偵!〜虫と植物のつながりを探ろう!〜【オンライン】	高本憲二氏 (自然観察指導員京都連絡会)	21
10月16日〜 11月30日	上記イベント【オンデマンド配信】		再生回数 122
10月2日	地球温暖化意識啓発アニメ「地球との約束」「私たちの未来」上映会〜アニメから地球環境について考えよう〜		34
10月9日	講演会「サーキュラーエコノミー研究家に聞く〜循環型経済について〜」 【来館及びオンライン】	安居 昭博氏 (Circular Initiatives & Partner 代表)	40 (来館8・オンライン32)
10月16日	第9回 えこそらキッズ		33
10月23日	セミナー「お片付けで始めるえーこな暮らし」【来館及びオンライン】	日浦弘子氏(ecoto 京都代表)下村委津子氏(NPO 法人環境市民副代表理事)	23 (来館8・オンライン15)
10月23日	お片づけでえーことはじめよか♪「絵本交換会(読み聞かせ)」「親子でお片づけ教室」「大人の整理収納相談会」「お片づけでえーことガイドツアー」	ecoto 京都	288
10月30日	第10回 えこそらキッズ		25

11月6日	雲ってなあ〜に？雲を知って、お天気博士になろう！	(一社) 日本気象予報士会関西支部 NPO 法人自然観察指導員京都連絡会	36
11月20日	第11回 えこそらキッズ		31
11月21日	京のSDGs 学校未来をつくるオンラインセミナー「一杯のコーヒーからできること」【オンライン】	小川珈琲株式会社	14
11月27日	京のSDGs 学校未来をつくるオンラインセミナー「動物園での生物多様性保全の最前線」【オンライン】	公益財団法人東京動物園協会	14
11月28日	京のSDGs 学校未来をつくるオンラインセミナー「持続可能な社会をつくるエネルギー」【オンライン】	北橋みどり氏(株式会社 E-konzal)	8
12月4日	第12回 えこそらキッズ		13
12月5日	体験！次世代自動車のチカラ「お茶スタンド」「パネル展示」		289
12月5日	体験！次世代自動車のチカラ「次世代自動車教室」	三菱自動車工業(株)・京都三菱自動車販売(株)	19
12月11日	第12回 えこそらキッズ		25
12月12日	京のSDGs 学校未来をつくるオンラインセミナー「最新の報告書からひも解く気候変動」【オンライン】	安成哲三氏(京都気候変動適応センター長)	10
12月18日	地球温暖化意識啓発アニメ「地球との約束」「私たちの未来」上映会〜アニメから地球環境について考えよう〜		16
12月26日	環境×京都の伝統産業・伝統工芸体験ワークショップ「京こま」づくり ※(公財) 京都伝統産業交流センターとの共催	中村佳之氏(京こま雀休)	40
1月8日	第13回 えこそらキッズ		30
1月16日	クロストーク「気候変動×京都の伝統産業」【来館及びオンライン】 ※(公財) 京都伝統産業交流センターとの共催	中川典子氏(株式会社千本銘木商会)、 三木表悦氏(京塗師表派)、伊勢武史氏(京都大学フィールド科学教育研究センター)	18 (来館4、オンライン14)

2月1日～ 2月28日	上記イベント【オンデマンド配信】		再生回数 178
1月22日	第14回 えこそらキッズ		25
1月30日	環境×京都の伝統産業・伝統工芸体験 ワークショップ金継ぎ体験 ※（公財）京都伝統産業交流センターとの共催	追立睦氏（漆作家）	37
1月8日～ 1月31日	京のSDGs 学校～未来をつくるオンラインセミナー～「最新の報告書からひも解く気候変動」 【オンデマンド配信】	安成哲三氏（京都気候変動適応センター）	再生回数 79
1月8日～ 1月31日	京のSDGs 学校～未来をつくるオンラインセミナー～「持続可能な社会をつくるエネルギー」 【オンデマンド配信】	北橋みどり氏（株式会社 E-konzal）	再生回数 87
2月26日	環境×京都の伝統産業・伝統工芸体験 ワークショップミニ提灯づくり ※（公財）京都伝統産業交流センターとの共催	小嶋商店（京提灯）	33
3月19日	エコセンでドローンを飛ばそう～SDGs パズルに挑戦～	株式会社ドローン ITP 企画	63

※えこそらキッズ 11 件（延べ 310 人参加）

※イベント 39 件（内訳：来館 21 件、オンライン（申込制）11 件、オンデマンド配信 7 件）
（来館参加延べ 1,091 名、オンライン（申込制）参加延べ 209 名、オンデマンド配信再生回数 1,367 回）

1146 環境保全促進のための研究、調査等

2050年二酸化炭素排出量正味ゼロに向けて、環境保全の促進に資する制度や仕組みの研究、調査を行い、その課題や効果を検証するための社会実験を実施します。実施に際しては、市民・事業者・行政のプラットフォーム「京のアジェンダ21フォーラム」を活用し、テーマごとにその内容に適したメンバーによるプロジェクトチームを設置します。

また、研究、調査、社会実験等で得られた成果は、京エコロジーセンター等で発信・共有し、広く市民や事業者、NPO等が活用できるようにします。

<2021年度結果>

- ・ 将来の京都を担う若者を中心とする市民、事業者及び学識者等と共に、2050年の京都にふさわしい脱炭素型のライフスタイル像や、それを実現するためのこの10年の目標・アクションを創るため、「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」を結成し、推進チーム会議を2回、WG会議を6回、市民ワークショップを1回開催しました。
- ・ この事務局を京都市地球温暖化対策室と一緒に担い、会議の準備や当日運営の他、検討する内容に関する情報収集や提案、メンバー及び関係者との情報交換等を行いました。

◇推進チーム会議

【オンライン併用】

開催日	タイトル	場所	参加人数
9月7日	第1回推進チーム会議	京都信用金庫 QUESTION 4階 コミュニティステップス	19
11月10日	第2回推進チーム会議	京都市役所 4階 正庁の間	18

◇WG

【オンライン】

開催日	タイトル	参加人数
1月24日	第1回住まいWG会議	5
2月18日	第1回消費行動WG会議	5
2月28日	第1回つながりWG会議	6
3月7日	第2回住まいWG会議	4
3月10日	第2回消費行動WG会議	8
3月18日	第2回つながりWG会議	5

◇市民ワークショップ

【オンライン】

開催日	タイトル	参加人数
3月27日	2050年の脱炭素社会を暮らしの視点で考えるワークショップ	6

1147 環境ボランティアの育成

来館者に対し館内の展示物や環境に配慮した設備を案内する環境ボランティア（エコメイト）を募集し、育成します。すでに活動している環境ボランティアに向けては、ボランティアがやりがいを持って、段階的に活動を発展させていくためのボランティアマネジメントや研修（案内活動に活かせる研修や、企画の手法等）を行います。なお、ボランティア活動の内容や規模にあわせ、対面とオンラインを使い分けたり、併用したりしながら実施します。あわせて、エコメイト3年目、及び京エコサポーターを対象に、京エコロジーセンターでの経験やそれぞれのスキルを活かせる館内外の場所や機会に関する情報を提供することで、京都市内の環境保全活動の活性化を目指します。

<2021年度結果>

- ・ 事務局全体でボランティアのコーディネートを行うとともに、ボランティア全体の活動意欲を高める場（マネジメントの会）を年間10回、環境問題に関する最新情報を収集し、ボランティア活動へ活かす研修（ボランティア研修）を、年間12回実施しました。
- ・ ボランティアが自主的に活動を展開するグループ活動では、ボランティアによる自主企画が年間で8件実施されました。
- ・ エコメイト養成講座は、感染対策として講座実施時間を短縮するために、事前視聴用の動画配信を行い、第3回以降は、まん延防止等重点措置の適用を受け、対面とZoomを併用するなどして、全6回実施しました。また、一人ひとりと密にコミュニケーションを取るために、実習後に個別に話を聞く機会を設けました。今期は例年より受講者が多く、講座申込者は53人、内修了者は38人で、全修了者がエコメイト22期に登録しました。

◇マネジメントの会（ボランティア全体の活動意欲を高める場）

開催日	タイトル	対象	参加人数
4月4日	登録証授与式	エコメイト21期	18
4月4日	スタートアップの会	エコメイト	28 (来館23、オンライン5)
4月24日	グループ活動説明会・ 報告会	エコメイト 京エコサポーター	28 (来館14、オンライン14)
7月3日	ボランティア全体ミー ティング①	エコメイト 京エコサポーター	27 (来館18、オンライン9)
9月12日	中間ふりかえりの会	エコメイト	オンライン11
9月27日	映画「プラスチックの 海」上映会	エコメイト 京エコサポーター	オンライン18
12月19日	ボランティア全体ミー ティング②	エコメイト 京エコサポーター	28 (来館22、オンライン6)
1月22日	第1回施設ボランティ ア交流会	エコメイト 京エコサポーター	12
3月21日	年間ふりかえりの会	エコメイト	20 (来館15、オンライン5)
3月21日	修了証授与式	エコメイト 京エコサポーター	21 (来館16、オンライン5)

◇ボランティア研修

開催日	タイトル	参加人数
4月17日	ボランティア研修①「マナー&コミュニケー ション」	33 (来館19、オンライン14)
5月1日	デジタル研修（Zoomの基本操作など）	9
6月6日	ボランティア研修②「屋上・生物多様性」	オンライン29
6月26日	ガイド研修	16
7月4日	通い帳研修	15
7月10日	ボランティア研修③「水」	40 (来館16、オンライン24)
8月29日	ボランティア研修④「ごみ」	オンライン31
9月26日	ボランティア研修⑤「電気」	オンライン31
10月4日	ガイド研修②	10
10月23日	ボランティア研修⑥「SDGs」	34 (来館21、オンライン13)
11月9日	ボランティア研修⑦「自然」（社会見学）	21
2月5日	ボランティア研修⑧「地球温暖化」	44 (来館16、オンライン28)

◇ボランティアによる自主企画イベント

開催日	タイトル	実施グループ人	参加人数
7月31日	うちごみ相談所	ワーキンググループ 「うちごみ相談所」	13
8月1.10 月.1014・ 19日	エコセン☆夏休みワクワクひろば	登録グループ 「イベントグループ」	112
8月8日	ペットボトルでマイ風力発電機を作ろう！	登録グループ 「エコエネクラブ」	35
11月7日	家庭のごみ減量診断	ワーキンググループ 「うちごみ相談所」	48
12月19日	マイエコライトを作ろう！クリスマス・バージョン2021	登録グループ 「エコエネクラブ」	36
12月25日	もうやっているよSDGs!楽しみながら学ぶ「SDGsビンゴゲーム」	登録グループ 「イベントグループ」	16
2月27日	ライトで動く！クワガタサッカーゲームに挑戦！	登録グループ 「エコエネクラブ」	47

◇ボランティアによる自主企画展示

開催期間	タイトル	実施グループ人
7月20日～ 8月16日	ボランティア推薦図書特別展示絵本&POP展	登録グループ 「図書グループ」

◇エコメイト養成講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	1月9日	京エコロジーセンター・ボランティア きほんのき	41
第2回	1月15日	環境問題 きほんのき	35
第3回	1月23日	展示・コミュニケーション きほんのき	38 (来館16、オンライン22)
第4回	1月29日	環境学習プログラム きほんのき	36 (来館27、オンライン9)
第5回	2月9日	実習オリエンテーション	19
	2月12日		20
	2月11日 ～3月23日	実習	延べ67
第6回	3月6日	これまでの講座のふりかえり &登録説明会	37 (来館28、オンライン9)

1148 環境保全活動に関わる人材の育成

市民を対象とした、地域や市民活動のリーダーとして環境保全活動を担う人材育成を目指し、必要な専門性を獲得できるような講座として、再生可能エネルギーの普及を担う人材育成講座や、環境保全活動に取り組む個人や団体の活動内容をステップアップさせるような人材育成講座を実施します。また、講座の修了者が実際に環境保全活動を実施するためのネットワークを得るために、修了者同士の交流を図る意見交換会を企画・実施します。

<2021年度結果>

- ・ 年間を通じてエコメイト修了者を対象に、地域の活動に役立てられるような情報、エコ学区事業のブース出展や学習会についてのスケジュール等の情報提供を行いました。10月と2月には、エコメイト3年目の19期と京エコサポーターを対象とした「京エコサポーター説明会」を実施し、エコメイト修了後の活動の様子を共有しました。
- ・ 連続講座として、自然エネルギーに関心がある方や自然エネルギーで地域づくりを行いたい方等を対象に「自然エネルギー学校・京都2021」を6月～9月の期間でオンラインにて実施しました。10月～12月には、環境保全活動を推進するために、地域等で活躍できる人材を養成することを目的とした「環境活動パワーアップ講座2021」を実施し、12月に今までの講座に参加した修了者の交流会とアンケートを実施しました。修了者の声として、環境活動に取り組んでいきたいという意欲はありつつも、新型コロナウイルスの影響により活動を控えざるを得なかった、計画を実施できなくなった、という意見が目立ちました。また、コロナ禍においてもネットワークづくりをさらにしていきたいという意見もあり、このような交流の場づくりの必要性を再認識しました。

◇自然エネルギー学校・京都2021

「自然エネルギー100%を実現するためのプランを作成しよう！」 【オンライン】

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	6月26日	エネルギー消費の実態を学ぼう！	25
第2回	7月10日	自然エネルギーを設置しよう！	25
第3回	8月7日	電力会社を切り替えよう！	22
第4回	8月28日	身の回りのエネルギーを管理しよう！	17
第5回	9月25日	自然エネルギー100%プランを作成しよう！	18

◇環境活動パワーアップ講座2021 「思いをカタチにする力が身につく6日間」

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	10月17日	何を実現したいのか どんな活動がいいのか、じっくり考え伝えてみよう	12
第2回	10月31日	仲間と一緒に思いをカタチにする力をつけよう	11
第3回	11月7日	私（達）はどんな力があるのか 様々なつながりを考えてネットワークを広げよう	11

第4回	11月23日	活動を企画する力を高める いろいろな立場の人と協働しよう	10
第5回	12月11日	私（達）はこれから何をするのか 考え、伝え、多くの人にも呼びかけよう	10
	12月12日		10

1149 海外との交流

京エコロジーセンターにおいて、国内外の他都市や団体等との連携・交流につながるような国際的な取組の推進を行います。具体的には、国際的な環境保全活動の取組に関する企画展を日英の2言語で実施するとともに、その関連イベントを企画・実施する他、海外での環境保全活動や環境教育に関する事例や情報を収集・整理し、図書コーナー等を活用して発信します。また、これらの取組を京エコロジーセンターのHPやSNS等を通じて英語で発信します。

<2021年度結果>

- ・ スパイスをテーマにした企画展「スパイスアップ！～環境意識を刺激する香辛料の魅力～」を日英の2言語表記で開催しました。
- ・ 海外の地球温暖化や環境教育等に関する書籍を収集し、図書コーナーに設置しました。また企画展のテーマ（スパイス）に関連した図書や幼児向けの絵本なども購入し、年間を通して10冊以上の本をホームページやFacebookを通して日本語と英語で紹介しました。その他、国内外に向けた情報発信として、企画展やイベントの紹介、団体見学の様子などを日本語及び英語で発信しました。
- ・ 今年度の海外からの団体見学対応は、2団体6人で、インターナショナルスクールに在籍している児童や留学生を受け入れました。
- ・ 京エコロジーセンターの国際的な取組を発信することを目的として、館内に国際事業紹介コーナーを設置しました。

1150 大学生の環境活動支援

大学生の環境活動を支援するため、インターンシップ受入や環境教育、環境保全活動、市民活動等をテーマとする研究活動への協力を行うとともに、京エコロジーセンターで実施している大学生向け環境活動支援メニューをわかりやすく伝えるための情報発信に注力します。あわせて、1502E SD－SDGs 事業との連動も意識し、参加した大学生グループによる京エコロジーセンターを拠点とした実践活動を支援します。また、大学生が集まってそれぞれの活動内容の共有や意見交換を行う機会を設けます。

<2021年度結果>

- ・ 大学生向け環境活動支援メニューをわかりやすく伝えるために、案内チラシを作成しました。個人や団体から問い合わせがあり、イベント協力や研究支援等を行いました。
- ・ 8月～3月まで、長期インターン生として大学生を3名受入れ、ボランティアコーディネーター、連続講座の運営サポート、イベント企画についてそれぞれ活動を行いました。加えて、調査研究を行うインターン生を9月～11月に1名受入れ、研究活動への協力を行いました。

- ・ 8月から9月にかけて、みやこ KAMADOKI プログラム SDGs Acts クリエイティブ×エコロジーコースの大学生1名、グローバル×エコロジーコースの大学生2名、高校生1名、計4名を受入れました。それぞれ館内ツールの「ちきゅまるのはこ」のデザイン案作成と京都に暮らす留学生へのインタビュー調査を行いました。留学生への SDGs や環境活動に関するインタビューを通じて、国によって進んでいること、課題となっていることが違うことがわかり、それらを通じて日本で今後取り組んで行くべきことについて意見交換がなされました。
- ・ えこそらキッズの大学生ボランティアを6名受入れました。
- ・ 10月には、環境活動をしている団体に所属する大学生が集い、活動の共有や意見交換を行う「みやこ学生エコサミット」を実施し、5つの学生団体が参加しました。

◇環境活動を行う大学生への活動支援内容

実施日	企画名	支援内容	団体名	担当者所属大学
6月7日	マイボトルダンス	動画投稿協力	エコ〜るど京大	京都大学
6月20日	2020 キャンドルナイト リレーin 京都	会場提供、配信機 材貸出、広報協力	Climate Youth Japan	京都府立大学
7月17日	へんてこりんお野菜で Happy にエコろう！	会場提供、物品貸 出、広報協力	Lápiz Private	立命館大学
7月25日	お野菜絵の具でアートを 楽しもう！ー夏野菜 の呼吸ー	共同主催	Lápiz Private	立命館大学
10月17日	What do we do for us 日中の学生が本気で挑 む脱炭素社会！	会場提供	独立行政法人国 際交流基金 日 中交流センター	京都産業大学
10月30日	ごみに関するボランテ ィア活動団体の相談	団体紹介		龍谷大学
11月1日	環境教育教材開発に関 するインタビュー及び アドバイス	研究支援		京都橘大学
11月3日 ～6日	高齢者の気候変動対策 に関するインタビュー	研究支援		上智大学
11月12日	インターン生への省エ ネ設備、再エネ電力の 説明	館内見学	認定特定非営利 活動法人気候ネ ットワーク	
12月21日	食品ロスに関するイン タビュー	研究支援		京都産業大学
3月27日	お野菜絵の具×昆虫ー 地球を救おう！ー	共同主催	Lápiz Private モリノエビ	立命館大学

2 南部クリーンセンター第二工場環境学習施設管理運営業務

2101 南部クリーンセンター環境学習施設管理運営業務

(当協会と2社による連合体「さすてな京都運営コンソーシアム」として実施します。)

南部クリーンセンターに設置された、世界最先端の環境技術等が楽しく学べる環境学習拠点「さすてな京都」において、子どもから大人まで幅広い年代に対し、施設見学や学習プログラムなどを実施します。4年契約の3年目として、小学校4年生の社会見学受入対応や、伏見区3施設(京エコロジーセンター・京都市青少年科学センター・さすてな京都)の利用促進等、施設の安定運用を目指します。

<2021年度結果>

◇施設利用者数実績

来館者数 合計		19,550 人	
施設利用者数 合計 (来館者数+オンライン見学参加者数)		21,624 人	
工場見学ツアー	定時ツアー	173 回	1,065 人
	団体ツアー	207 回	4,913 人
	オンライン	32 回	2,074 人
子ども学習プログラム		130 回	2,503 人
学習講座		14 回	302 人

※臨時休館期間：2021年4月25日～5月31日、8月20日～9月30日

※館内実施プログラム一律中止期間：令和3年6月1日～6月20日

※開館日数は、緊急事態宣言による臨時休館が68日あり、開館日数は、本来の306日から238日に減少しました。

- 2020年度に「一律中止」とされた「小学校4年生を対象とした社会科見学」については、「同時間帯に複数の小学校受入不可」等、開催上の制限はあったものの、感染対策を講じながら、「56校/3,158人」を受け入れることができました。

臨時休館中や学校独自の判断により来館できなかった学校については、京都市及び京都市教育委員会から「オンラインで開催して欲しい」との依頼を受け、運営グループにて「オンライン見学用特別動画、及びオンライン見学専用ワークシート」を作成し、催行しました。「小学校社会科見学のオンライン開催」については、「32校/2,074人」の利用がありました。

- 青少年科学センター・京エコロジーセンター・さすてな京都をつなぐシャトルバスを運行し、伏見区環境学習拠点3施設の連携として以下を実施しました。

① 「環境のこと、楽しく学ぼう ECO ラリー」及び「ECO チャレンジ宣言」

(2021年11月1日～2022年1月10日実施、279名参加) 3施設を巡ってスタンプを集めるとともに、参加者が「環境のために取り組みたい行動」を「ECO チャレンジ宣言シート」に記入。集まった宣言は期間中に「さすてな京都」館内に掲示、YouTubeで

も公開。最終的には取りまとめてポスターを制作し、3施設に掲示しました。

② 科博連サイエンスフェスティバル

科博連加盟の各施設にて分散開催しました。(2022年2月19日実施、38名参加)
「さすてな☆子ども科学教室 特別編～工作と実験で、電気のはてな?を知ろう～」

③ 未来のサイエンティスト養成講座「さすてな京都で、最先端の環境技術を学ぼう！」

日立造船のプラント開発技術とバイオガス化施設に着目し、発酵を取り扱う実験とバックヤードを含む特別な工場見学を織り交ぜたプログラムを青少年科学センターの職員の支援のもと、新たに開発しました。

(2021年7月29日実施、17名参加。2021年12月4日実施、17名参加)

【2】国際事業 (事業番号 1201～1205)

1201 JICA 課題別研修「廃棄物管理能力向上」業務

廃棄物管理に関わる行政職員を主な対象とし、廃棄物管理や政策に関する講義や視察を行うだけでなく、市民参画による廃棄物減量や分別への協力をどのように得るのかという視点で約2ヵ月にわたる訪日研修を企画・実施します。また、本研修で学んだことを活かし、参加した研修員がそれぞれの立場で実現可能なアクションプランを作成することを支援し、その実行にかかるフォローアップを行います。

※2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、実施が延期になった2020年度のコース(ポルトガル語、オンライン研修:2021年3月～9月、訪日研修10月～12月予定)と、2021年度のコース(英語、オンライン研修:2021年8月、訪日研修9月～11月予定)の2コースを実施します。

<2021年度結果>

- ・ 2020年度ポルトガル語コース及び2021年度英語コース共に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、訪日研修を行わず、全てオンラインで研修を実施しました。
- ・ ポルトガル語コースでは、2021年3月～2021年11月にオンデマンド教材を活用した研修を実施しながら、定期的にオンラインでの進捗管理を行いました。11月にリアルタイムセッションの時間を設け、参加者各自のアクションプランの立案・発表を行いました。
- ・ 英語コースは8月と10月に短期集中でのリアルタイムセッションと、その前後にオンデマンド教材を活用した遠隔研修を実施しました。参加国の時差の関係で2つのグループに分けての実施となったため、オンライン学習マネジメントシステム上でのグループ間の交流を行いながら進めました。研修の成果物として研修員それぞれのアクションプランを作成・発表しました。

1202 JICA 草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

2016年2月から2018年12月の約3ヶ年で実施した、「イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」の第2フェーズとして採択の内定を得た本プロジェクトを2021年度秋頃から開始できるよう、現地での合意書の締結やJICAとの契約交渉を進めます。プロジェクト開始後は、マレーシア国ジョホール・バ

ル市において、京エコロジーセンターをモデルとした環境教育・環境保全活動の拠点施設の設立支援及びその機能強化にかかる協力を行います。

<2021年度結果>

- ・ 新型コロナウイルスの影響による渡航制限などもあり、契約に向けた手続きに時間を要しましたが、5月にカウンターパート間の協力覚書を交わし、10月1日付でJICAとのプロジェクト実施にかかる契約を行い、プロジェクトの履行開始となりました。
- ・ プロジェクトを効果的に遂行するため、現地カウンターパートとの運営委員会 (Technical Committee) を立ち上げ、オンラインで定例会を実施しています。
- ・ 2022年度には、現地の環境教育・環境保全活動の拠点施設を運営する専門職員への研修 (遠隔研修及び現地での研修) を行う予定であり、その遠隔研修実施に向けたオンデマンド教材の作成を進めました。

1203 J I C A 日系研修受け入れ業務

中南米の日系研修員を対象とした約1ヵ月間のJICA日系研修「環境教育リーダー養成研修 (都市型環境教育)」コースを企画・実施します。OJT形式で協会の業務を行うことを通じ、環境教育プログラムの企画・実施方法や市民参画での環境教育・環境保全活動の推進のための視点を学び、帰国後それぞれの立場で活躍できる環境教育リーダーの育成を行います。研修実施後は、その成果を整理し、発信します。(JICAを通じて公募がかかり、参加者の応募があった場合のみ実施されることとなります。)

<2021年度結果>

- ・ 今年度の研修に3名の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインでの研修実施になったことを受け、2名が辞退となり、また残りの1名も昨年度の参加者であったことから、本年度の研修の実施は見送られることになりました。
- ・ 来年度の日系研修についてはJICAへ研修内容の提案を行い、採択を受けました。(実施は来年度参加者募集を行い、応募者及び合格者がいた場合のみとなります。)

1204 J I C A 中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」支援業務 (研修受託業務・専門家派遣)

本プロジェクトは2020年度をもって終了となりますが、2021年度以降も日中友好環境保全センター及び同センター内の環境情報プラザと情報や意見の交換を継続して行います。

<2021年度結果>

- ・ 2021年度には特に交流等はありませんでした。

1205 その他 国際事業 (調査、案件形成等)

環境教育、環境学習施設運営、市民参画等、当協会の強みを活かせる国際協力分野での研修・事業について情報収集・調査を随時行い、新たな案件形成につなげます。

<2021年度結果>

- ・ JICA 本部より気候変動対策に関する新たな研修コース実施に向けた相談があり、京都での研修実現可能性や対象者、研修内容についての打ち合わせを重ねた結果、次年度に本コースが京都市を中心に実施されることとなりました。
- ・ JICA の技術協力プロジェクトを実施している団体から、遠隔研修教材作成に係る協力依頼があり、京都市への取材協力依頼のサポート、シナリオ（案）の確認、撮影スケジュールの調整、撮影への同行などコーディネート業務を行いました。

【3】地域環境活動支援事業

1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援業務

京都市内で地域活動の中心的な役割を担っている「学区」に対して、地域性を活かした学区独自のエコ活動、地球温暖化の現状と対策をはじめとする環境保全に関する知識を提供する学習会、省エネ体験会の開催等、地域の意欲に応じた支援業務を実施することで、地域ぐるみのエコ活動を推進します。(市内全222学区対象)

<2021年度結果>

- ・ 京エコロジーセンターに「エコ学区サポートセンター」を開設し（平日 9 時～17 時）、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した 222 学区に対し、学習会などの実施等を通じて、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。
- ・ 学区に対して、年間で計 900 回を超えるコンタクトを行い、エコ活動の現場取材、地域へ直接アプローチを行うなど、ニーズに合わせ迅速に対応しました。年度当初には約 50 学区から学習会やブース出展の希望がありましたが、地域活動への新型コロナウイルスの影響により、実施の中止・延期や実施方法の変更など柔軟に対応し、地域の要望に合わせて以下の取組を行いました。

エコ学区ステップアッププログラム	地域課題に絡めたエコ活動の支援を行いました。 ①「自分たちのまちを自分たちで守ろう！！」 ～絶滅危惧種で繋がる松尾の WA～（西京区松尾学区） ②みみずっち大作戦 ～みんなで繋げよう大原エコの輪～（左京区大原学区）
学習会	21 学区 442 名参加（大人 292 名・子ども 150 名）
環境啓発ブース出展 及びブース型学習会	21 学区 725 名参加（大人 588 名・子ども 137 名）

- ・ 2050年 CO₂排出量正味ゼロに向けたみちづくり支援業務

地球温暖化対策に資する活動を行う NPO、企業、大学等の団体の活動の発掘や、エコ学区活動とのマッチング、活動の伴走支援を行いました。

テーマ	活動団体と主な支援
おさかな編	活動団体：京の川の恵みを活かす会、鴨川での活動に興味のある団体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動と地域の環境の関わりを見つめ直す観察会の実施 ・ 上記観察会の記録動画の制作と発信 ・ 関係者をマッチングする交流会の企画運営
おやさい編	活動団体：株式会社中嶋農園 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域循環型農業を周知するイベントの企画運営 ・ 上記イベントの記録動画の制作と発信 ・ 京都すばる高校での生ごみ堆肥学習会と実施支援
まちなか公園編	活動団体：大宮交通公園で活動する団体 <ul style="list-style-type: none"> ・ サステナブルパークの実現に向けた「実行委員会」の立ち上げ ・ イベントへの出展を通して、木質バイオマス活用を啓発 ・ 2022年度に向けたマッチングと支援計画の策定
再エネ率向上編	活動団体：再生可能エネルギー導入を推進する団体 <ul style="list-style-type: none"> ・ エコ学区等を対象にした、再エネ学習会を2回実施 ・ 桃山学区自治会館への再エネ電力導入支援 ・ 久我学区自治会館への再エネ電力導入支援

1600 ごみ減量推進事業

市民、市民団体、事業者、事業者団体、ごみ問題の専門家、京都市などが対等の立場で参画し、お互いの立場を理解しながら、自発性とパートナーシップを基本として、ごみ減量に関する意識の高揚化を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自主的な取組を促進することにより、京都市のごみを減らし、環境を大切にしたいまちと暮らしの実現に寄与するために、以下の事業を実施します。

ア 普及啓発

- ・ パンフレット、ホームページ等を活用し、効果的な広報を行います。
- ・ ごみ減量につながるライフスタイルへの転換のヒントや各団体の活動報告等を掲載した情報誌「ごごみ日和」を発行します。
- ・ 全市的イベント等において啓発ブース（パネル展示、アンケート、クイズ、工作教室等）を出展します。
- ・ 市民向け、親子・子ども向け、企業向けのごみ減量講座やワークショップ等を行います。

<2021年度結果>

- ・ メーリングリストによる情報発信を55回実施し、オンデマンド配信講座等の情報発信を機動的に行いました。メール登録数も783件に増加しました。（昨年度末573件）
- ・ 情報誌「ごごみ日和」（年4回・各3,000部発行）では、大学生ライターの見解で事業者へオンライン取材をするなど、協力者と協力先の拡大を図っています。
- ・ 食品ロス削減をテーマに、同志社えこずクラブ（同志社大学小谷ゼミ）の協力を得て

動画を作成し、SNS での発信やオンラインイベントに出展し、約 1,000 名の方にアプローチできました。

- ・ 講座事業ではオンラインを併用し、企業向け（3回 417名）、こども向け（3回 50名）、市民向け（生ごみコンポストにかかる講座、講習会、実践等 170名）を実施しました。

イ ごみ減量事業化

- ・ 市立小中学校児童生徒が回収した学校給食用牛乳パックを、トイレトペーパー「めぐレット」にリサイクルします。（2021年度は休止）
- ・ 家庭に眠っている不用品の再使用（リユース）を目的として、「いらなくなったらいる人へ」をテーマにフリーマーケットを開催します。
- ・ ごみ減量・リサイクルに関する取組など、循環型社会の実現に資する事業に対して助成を行います。（先進的モデル事業：上限 1,000 千円、地域活動事業：上限 500 千円）

<2021年度結果>

- ・ 再生紙推進事業は、教育委員会との連携により、市内小・中学校の献立表にごみ減量にかかる啓発記事を掲載しました（2022年2月）。また、リサイクルルートの再開に向け、関係者との話し合いを進めています。
- ・ 岡崎公園でのフリーマーケットは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通して中止になりました。
- ・ ごみ減量モデル事業（助成金事業）は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、採択団体それぞれが工夫を重ね、事業を実施しました。成果報告会では、団体同士の交流の時間をもち、次の連携につなげられるよい機会だったと感想をいただきました。

ウ 地域活動

- ・ 小学校区（元学区を含む）を基本単位として、地域住民により組織される地域ごみ減量推進会議の活動を支援します。

<2021年度結果>

- ・ 新規立ち上げが0件、退会が1件あり、全体の設置数は204団体となっています。
- ・ コロナ禍により、各区代表者が一同に会しての意見交換会が出来ないことから、市担当者及びエコまちステーション職員と共に、各区代表者と個別に意見交換を行いました。
- ・ 普及啓発の市民向け講座「生ごみコンポスト」事業に2団体（昨年度は7団体）が参加し堆肥の取組の輪が少しずつ広がっています。
- ・ 施設見学会や宇治茶ムリエ講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

エ 2R型エコタウン構築事業

- ・ 2R型ライフスタイルを広めるための人づくり事業を実施します。
- ・ 2Rの考え方や施策、モデルとなる行動様式等を発信します。
- ・ 主に日用品等の修理等を行う店舗を紹介し、その利用及び家庭ごみの減量を図ります。

<2021年度結果>

- ・ 2R人づくり事業では、10月24日に京都市環境政策局循環型社会推進部長、京大浅利准教授、大阪商業大学原田准教授、環境漫画家高月紘（ハイムーン）氏を招き「京都から減プラ市民行動」を開催し、11月28日には京都市内で減プラ活動に取り組む8団体と京都市環境政策局資源循環課長を招き、「京都の減プラ市民団体と出会う日」を開催しました。これらについては、ウェブサイトで動画公開しています。これを受けて、12月12日及び19日に、活動実践者を対象にした「2Rメッセンジャー養成講座」を開催しました。また、京都市環境政策局各まち美化事務所職員を対象としたプラスチック問題をテーマにした学習会に、講師として3回出講しました。
- ・ 2R文化発信事業では、上記の成果を受けて、2月12日に、京都市廃棄物減量等推進審議会会長と京都市内の減プラ活動団体8団体、京都市担当者を招き、意見交換会を実施し、その結果「資源めぐるプラン協働プロジェクト」を立ち上げ、次年度に向けて、団体間及び行政と協働した取組を実践していくことになりました。
- ・ 2Rサービス紹介事業では、ウェブサイトの「もっぺん」の運営を継続しました。

1700 京のアジェンダ21フォーラム事業

市民、事業者、行政が協働して、京のアジェンダ21に示された取組の具体化及び行動への誘導、並びにその評価及び充実を図り、もって環境と共生する持続型社会を実現するために、京のアジェンダ21フォーラムとしての事業を実施します。

<2021年度結果>

- ・ グリーン金融や市民参加についての勉強会やウェビナーを開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月4日	国内外のグリーンファイナンスと地域 ESG 金融の動向	永田綾氏（京都市環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策部長）	14名
7月22日	ICT を活用した新たな市民参加	東健二郎氏（一般社団法人コード・フォー・ジャパン）	34名
8月18日	京都地域創造基金の経験から見た地域での社会活動に関するお金の回り方	可児卓馬氏（公益財団法人京都地域創造基金 専務理事・事務局長）	11名

- ・ 10月27日には、京のアジェンダ21フォーラム会員を対象とした意見交換会を会場とオンラインのハイブリッドで開催しました。会員16名の参加のもと、2050年の脱炭素型ライフスタイルについてと、そのために京のアジェンダ21フォーラムで取り組めるテーマについて話し合いました。
- ・ SDGサポーターズ代表の杉田博幸氏と協力し、（一社）未来技術推進協会が開発したボードゲーム「Sustainable World Boardgame」を基にした京都市版のSDGsボードゲームを完成させました。また、このゲームを実施するため、職員6名が認定ファシリテーターの資格を取得しました。10月10日には交流会&体験会をキャンパスプラザ京都で開催し、38名が参加しました。

1704 観光のエコ化の推進

祇園祭や嵐山などでテイクアウト用容器をリユース容器に転換するための実験を行うほか、これまでの3年間の取組をもとに、ポストコロナ社会での持続可能な観光に関する提案をとりまとめます。

<2021年度結果>

- ・ 2019年度より「プラスチックごみ削減活動を通じた住民と観光客の持続可能な共存」として地球環境基金の助成を受けていますが、祇園祭では昨年引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため露店の出店がなく、リユース食器の導入ができず活動を縮小して行われました。その中で、大学生などを中心としたボランティアリーダーの研修を行いました。
- ・ 9月と12月、嵐山商店街でマイボトルに給水できる仮設給水機を設置し、利用者へのアンケートなどを行いました。5日間で計約430人が給水し、そのうち186名分のアンケートを回収したところ、ほぼ全員が無料であれば利用したいと答え、観光地での使い捨て容器削減策のひとつとなる可能性が確かめられました。

1706 環境情報等の発信と共有

市民、事業者、関係者などに対して、世界の動きや最新の環境情報について広く発信を行うため、情報誌を発行する他、ホームページ等の運営、SNSの活用、メールマガジンの配信などを行います。

<2021年度結果>

- ・ 毎月初めにメールマガジン「京えこめる」の配信やホームページ、Facebook、Twitterでの情報発信を随時行っています。7月に情報誌「あじえんだ」を発行しました。

1502 ESD-SDGs事業

2018年度ESDユース・ネットワーク作業部会の協議を基に、2019年度より実施している文部科学省・ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）を継続させ、SDGsやESDに興味関心のあるユース(大学生)に、実践的な学習プログラムを提供するとともに、組織を越えてつながり、活動内容を進化させることができるネットワークを構築します。

<2021年度結果>

- ・ 文部科学省「令和3（2021）年度ユネスコ活動費補助金 SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業」に採択され、「京都・関西SDGsネットワークーみやこKAMADOKIプログラム実行委員会」を実施主体として、主に大学生・大学院生を対象にした「みやこKAMADOKIプログラム」を実施しました。

開催日	プログラム名	会場	参加人数
7月10日	キックオフイベント ゲスト：能條桃子氏（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表）	オンライン	13名

8月7日	オリエンテーション SDGs ボードゲーム：杉田博幸氏 (SDG サポーターズ)	キャンパス プラザ京都	20名
8月13日	SDGs Studios+ (プラス) エシカルワークショップ	オンライン	7名
8月17日	第1回 SDGs シンカゼミ 講師：小田真人氏 (株式会社オシンテック)	オンライン	13名
8月20日	SDGs Studios+ (プラス) 取材・記事作成講座 講師：外園周二氏 (朝日新聞社)	オンライン	7名
8月24日	第2回 SDGs シンカゼミ 講師：中村多伽氏 (株式会社 taliki)	オンライン	13名
8月31日	第3回 SDGs シンカゼミ 講師：益田晴子氏 (IKEUCHI ORGANIC 株式会社)	オンライン	7名
9月10日	SDGs Studios+ (プラス) 記事添削講座 講師：外園周二氏 (朝日新聞社)	オンライン	6名
9月25日	成果報告会	オンライン	29名
11月16日～ 1月16日	これまでの受講生の成果を京エコロジーセンターで展示	京エコロジーセンター	—

1503 家庭向け0円ソーラー事業

<2021年度結果>

- ・ WEB上のポータルサイト「京都0円ソーラープラットフォーム」に京都府補助金対象プランを公開しました。
- ・ 京都府内でチラシ配布やメールマガジンの送付や電子公告等の手段を用いて広報活動を行ったところ、府内から問い合わせが多く寄せられ、その対応を行いました。
- ・ 今年度の京都府内での契約件数は22件でした。

1504 太陽光発電プラットフォーム事業

京都市が再生可能エネルギーの普及拡大を目指して2020年度から開始した、初期費用ゼロで太陽光発電設備を導入する「0円ソーラー」を多くの方に安心して利用してもらうための取組を実施します。

<2021年度結果>

- ・ 今年度より住宅用プランを掲載するにあたり、0円ソーラー事業者への登録プランに係るヒアリングを行った上で、5月にWEB上のポータルサイト「京都0円ソーラープラットフォーム」をリニューアルし、7月に住宅用プランを掲載しました。
- ・ 7月30日には事業者向けのオンラインセミナー（「初期費用ゼロで導入できる0円ソーラーを活用した脱炭素経営の実践」：9名参加）を開催し、0円ソーラー事業の周知を図る取組を行いました。
- ・ その他、京都市とも連携してチラシの配布等の広報を行い、それに伴う各方面からのお問い合わせに随時対応しました。
- ・ 今年度の京都市内での契約数は14件でした。

【4】講師派遣事業（事業番号1401）

1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

外部でのセミナーやシンポジウム等に職員を派遣し、環境教育、環境学習施設運営やボランティアコーディネーション、SDGs やごみ減量等をテーマとした講演や事例発表を行います。また、依頼元の要望にあわせた出前講座、セミナーやワークショップの企画実施を通して、他団体による環境活動の支援を行います。

<2021年度結果>

- ・ セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。
- ・ 依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しています。

実施日	事業名	主催
6月20日	大阪市エコボランティア研修「入門編」 オンラインによる座学・ワークショップ	一般財団法人環境事業協会
7月22日	夏休み工作教室 ペットボトルでマイ風力発電機を作ろう	城南衛生管理組合
9月16日	第46期 ボランティアコーディネーター養成講座 新任ボランティアコーディネーター基礎研修	日本ボランティアコーディネーター協会、大阪ボランティア協会
10月3日	インドネシア共和国バンドン工科大学及びパティムラ大学の学生への「持続可能なエネルギー資源の未来デザイン」オンライン講義	総合地球環境学研究所 SRIREP プロジェクト
10月17日	「南部クリーンセンター見学とSDGs 講演会」	一般社団法人京都府建築士会青年部会
10月18日	「地球環境基金助成金説明会」への講師派遣	独立行政法人環境再生保全機構
10月24日	「ボランティアコーディネーション力検定」 講義のオンデマンド研修及び演習	日本ボランティアコーディネーター協会
11月7日	咲くやこの花館イベント 「刺激！スパイスのひみつ～スパイスは植物だ～」	一般社団法人大阪スポーツみどり財団
11月10日	「SDGs 勉強会」	京都洛北ライオンズクラブ
11月26日	2021年度 JICA 課題別研修「博物館とコミュニティ開発」コース参加者へのオンデマンド講義	国立民族学博物館

12月6日	立命館大学国際平和ミュージアム 2021年度NGOワークショップにおける事例紹介とレクチャー	立命館大学国際平和ミュージアム
12月8日 2月26日	佛教大学オープンラーニングセンター 「ハイフレックス講座特別企画」への講師派遣	佛教大学オープンラーニングセンター

【5】調査・研究・開発・発信事業 (事業番号1501～1502)

1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化

京エコロジーセンター・京都市ごみ減量推進会議・京のアジェンダ21フォーラム等、協会の取組を通してこれまで蓄積してきた、施設運営・環境教育・ボランティア育成及びマネジメント・NPOや地域活動支援のノウハウ、ごみ減量や再生可能エネルギーの推進に関するコンサルティングや資源の提供をソーシャル・ビジネスとして展開するための調査・研究・開発・発信を行い、協会の将来展望を開きます。

2020年度総合戦略検討委員会の議論を踏まえ、リーディングプロジェクトを実施します。

<2021年度結果>

◇学会等での協会事業の発信実績

実施日	事業名	主催
5月30日	日本環境教育学会関西支部主催オンライン研究集会 「コロナ禍における環境教育の実践的な学びのためにー現場からの検証と提案」における京エコロジーセンターの事例紹介及びパネルディスカッションへの登壇	一般社団法人 日本環境教育学会 関西支部
7月27日 ～ 1月31日	環境省「ESD for 2030 学びあいプロジェクト」 近畿地方ESD活動支援センター分科会 「脱炭素型ライフスタイルを促すESD学習プログラムの向上」に向けた実践例等の情報提供及び意見交換、京エコロジーセンター内での実践活動の実施	環境省近畿地方環境 事務所
8月21日 8月22日	日本環境教育学会第32回年次大会「公害克服から持続可能な社会のゴールを目指してーSDGs未来都市・北九州市からの発信」における京エコロジーセンターの取組事例報告（口頭発表）	一般社団法人 日本環境教育学会
11月1日～ 11月15日	「京都環境フェスティバル2021」団体取組紹介（オンラインブース展示）	京都環境フェスティ バル実行委員会
11月3日	「kokoka オープンデイ 2021 団体活動紹介コーナー「つながり★新発見」」出展	公益財団法人京都市 国際交流協会
2月6日	日本ESD学会第4回大会 自由研究発表	日本ESD学会
2月9日	持続可能な地域創造ネットワーク 2021年度全国大会における話題提供	持続可能な地域創造 ネットワーク
2月14日	「都市の脱炭素化」ウェビナーにおける事例紹介	国立環境研究所

2月1日～ 2月28日	「第29回ワン・ワールド・フェスティバル オンラインウィーク」 出展	ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
----------------	------------------------------------	----------------------

◇研究会・実行委員会等への参画実績

実施日	事業名	主催
通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員会への参画	日本ボランティアコーディネーター協会
通年	京都未来門プロジェクト実行委員会への参画	国立環境研究所

<2021年度・2022年度継続事業>

◇環境に優しいMICE開催にかかる調査

これからのMICE開催において、温室効果ガス測定やカーボンニュートラル・オフセットに向けた取組のあり方は喫緊の課題であることから、京都が目指すべき環境に配慮した国際会議場を構築するにあたっての予備調査を行っています。

【リーディングプロジェクト】

協会の強みを活かしたドメイン（取組の領域）を設定し、ステークホルダーと共創し、「End of Pipe（出口の規制）」型の活動にとどまらず、問題の根源的な解決や元栓を閉める活動（問題の川上の活動）にも取り組みます。リーディングプロジェクトは、次の視点（①新しいチャレンジ②これまでの蓄積を活かした展開③事業や組織を支える財源確保）のもと、協会内部署（理事を含む）を横断して協働で企画・実施することで、協会職員の人材育成に資するものとしします。

<2021年度結果>

Leading project A 飛び出せエコセン！「リンカンガッコウ」

「リンカンガッコウ」を実施するフォールド（法然院森のセンター・宇多野ユースホステル・花脊等）の開拓、プログラム作成、および自立可能な実施枠組の検討を行いました。実施対象については、まずは、資金獲得の手段になりうる可能性のある企業研修を一つの軸として据え、子ども向け等、他領域への展開も検討しました。

また、協会HP等を活用して実施内容の広報を開始し、プログラムのモニターになりうる、関心のある企業、団体の呼び込みを行いました。

2022年5月4日「～Go to forest!2022～ 京都の森を五感で歩く モリウォーク in 法然院の森」の実施準備を行っています。

Leading project B みやこ KAMADOKI プログラム

従前より自主事業として実施していた、1502 ESD-SDGs事業を、リーディングプロジェクトと位置付け、企業の課題をSDGsの観点で解決する大学生プログラムを実施しました。詳細は、1502 ESD-SDGs事業に記載。

Leading project C 資金調達プロジェクト

協会自主事業を実施する資金を調達するため、個人からの寄付を受け取るための規則

の整備、寄付がしやすい仕組みづくりや、賛助会員制度の整備を行いました。

2022年度は、寄付3,000円（賛助会員も寄付扱い）×100名を確保し、当協会への寄付で、税額控除も選択できるようになることを目標に、寄付キャンペーンの企画等を行っています。

Leading project D 調査研究プロジェクト

協会の独自資源としての情報の蓄積や発信力向上を目指し、まずは協会内の職員が持つ知識、情報、経験、関心事を共有し、協会職員の関心事と持っている情報などをもとに自主学習会等、今後の取組を検討しました。また、プロジェクトメンバーの関心事と持っている情報などをもとに調査研究を行い、メンバー内で発表しました。

II 収益事業

5101 貸会場運営事業

京エコロジーセンターの貸会場の運営に、2021年度から利用料金制が導入され、利用料金は全額指定管理者の収入となることから、今後も利用率の向上を図る効果的な広報等に努めます。なお、貸会場は、会議室2、視聴覚室(シアター)、リサイクル工房(実習室A)、エコ厨房(実習室B)が各1となっています。

<2021年度結果>

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、臨時休館や開館時間の短縮があり、利用回数は減少しました。

利用回数	利用者数	使用料金合計
291回 (307回)	2,756人 (2,337人)	786,290円 (848,500円)

※3月末までの開館日数は、245日です。()は昨年度の実績

III その他事業（相互扶助等事業）

6101 秘密書類リサイクル事業

本事業は紙のリサイクルを一層推し進めるため、個人情報や機密情報が外部に漏れないよう保持したまま、溶解処理により段ボール板紙に再生するものです。

この事業は京都市ごみ減量推進会議会員へのサービスとして実施し、収集運搬は専ら物として古紙を扱う事業者組合へ入札により委託します。

<2021年度結果>

- ・ 民間事業者の参加が年々増えるのに伴い、重量の少ない回収の割合が増えています。ほぼフル稼働の状況となっているため、委託先事業者・参加事業者双方のニーズを調整しながら、運営方法の見直しなどを進めました。

- ・ 秘密書類リサイクルを含めた事業運営のための基盤強化を目的とした一部料金の計算方法の見直しを進めました。(2022年4月回収分より適用予定)
- ・ 過積載回収の防止を強化するための追加便利用及び超過料金に関するルールの整備を進めました。(2022年4月回収分より適用予定)

◇回収実績(単位:上段kg・下段円 50銭/kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期 小計	
京都市	55,500	82,350	79,720	70,510	67,170	87,410	442,660	
	27,750	41,175	39,860	35,255	33,585	43,705	221,330	
民間等	30,190	24,190	19,240	34,280	14,340	5,200	127,440	
	15,095	12,095	9,620	17,140	7,170	2,600	63,720	
合 計	85,690	106,540	98,960	104,790	81,510	92,610	570,100	
	42,845	53,270	49,480	52,395	40,755	46,305	285,050	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	延べ利用 部 課 数
京都市	59,690	61,190	58,710	40,580	44,420	68,570	775,820	166
	29,845	30,595	29,355	20,290	22,210	34,285	387,910	(172)
民間等	22,860	11,000	15,440	17,550	9,350	11,560	215,200	121
	11,430	5,500	7,720	8,775	4,675	5,780	107,600	(108)
合 計	82,550	72,190	74,150	58,130	53,770	80,130	991,020	287
	41,275	36,095	37,075	29,065	26,885	40,065	495,510	(280)

※回収重量:昨年度同期比101.94%(昨年度同期972,190kg)、延べ利用部課数の()内は昨年度の数

IV 附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022年5月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第34条 事業報告

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。